

# 新風

発行 神石高原町議会議員

## 木野山孝志 後援会

平成28年04月10日 NO.39

発行責任者：橋迫芳隆

神石高原町父木野2953-1

ホームページ <http://www7a.biglobe.ne.jp/~t-kinoyama/>

平成28年度  
当初予算

一般会計―昨年に引続き増額

95億7000万円

幼稚園、保育料の無料化  
協働支援センター立上げ  
雇用創出など 新事業

平成28年度当初予算の、一般会計・特別会計・病院事業会計の合計額は131億4987万円です。前年度対比3億9011万円の増額予算（2.8%増）となっています。内訳は表のとおりです。

一般会計は95億7千万

円で前年度比2億3千万

円増（2.5%増）で、ふ

るさと応援奨励事業や定

住促進対策事業等が大幅

に伸びています。

地方創生対策事業（加速

化交付金事業）7064万

円が平成27年度から繰越

され事業実施される予定

です。

自主財源は19億512

1万円、収入総額の20・

4%で23・8%の増とな

りました。寄付金や基金運

用等による財産収入の増

を見込んでいます。

### 平成28年度特別会計・病院事業会計当初予算

単位：万円

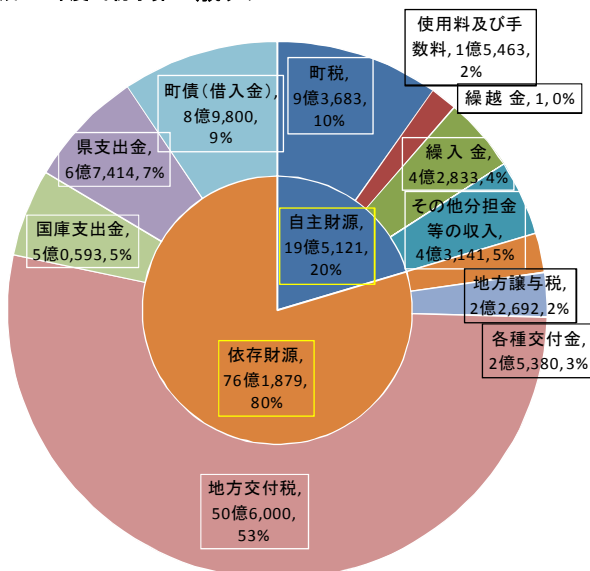
会計名		予算額
特別会計	国民健康保険特別会計	12億7,380万円
	後期高齢者医療特別会計	3億8,350万円
	介護保険特別会計	19億1,550万円
	簡易水道事業特別会計	3億8,720万円
	飲料水供給施設事業特別会計	3,940万円
	農業集落排水事業特別会計	2億4,670万円
	分収育林事業特別会計	10万円
	総合開発事業特別会計	590万円
	特別会計合計	42億4,790万円
病院事業会計		3億3,197万円
合計		45億7,987万円

依存財源のなかでは地方交付税という国から頂くお金が50億6千万円で総額の52・9%を占めています。借金の返済額は13億7617万円で借入金予定額の1・5倍の額となっています。

平成28年度末の基金（積立金）総残高は111億5230万円で26年度末より3743万円の増を予定しています。また、28年度末の地方債（借金）残高の総額は127億3760万円となり3億7500万円の減額となる予定です。

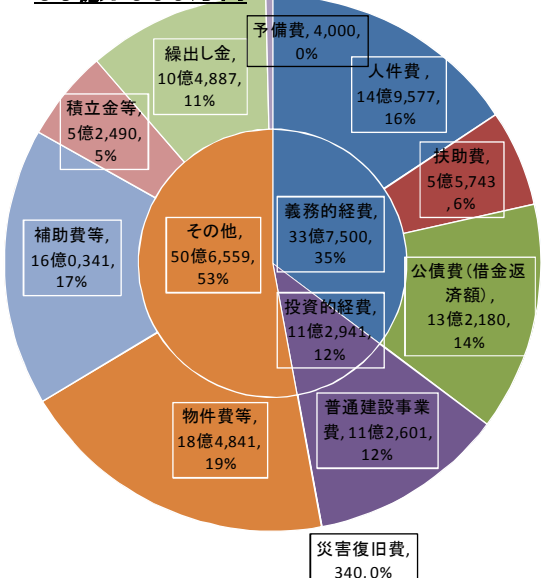
なお、平成26年度末の町民一人あたりの借金残高は131万5千円となりますが、交付税措置など借金の性質を考慮すると積立金総額のほうが借金総額より多くなります。

### 平成28年度当初予算 歳入



### 平成28年度当初予算 歳出

95億7000万円



平成27年度予算会計別総括表			
単位：万円（四捨五入）			
会 計 名	H28年 3月補正額	H28年 補正後予算額	適 用
一 般 会 計	2億9890	106億1530	
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	3,662	13億3,595
	後 期 高 齢 者 医 療	-▲5,005	3億6,231 広域連合負担金▲5005
	介 護 保 険	230	19億3,166 介護予防事業費▲400、介護準備 基金積立676
	簡 易 水 道 事 業	410	2億5,837 油木地区清算工事費増571
	飲 料 水 供 設 事 業		4,341
	農 業 集 落 排 水 事 業	10	2億6,338
	分 収 育 林 事 業		5
	総 合 開 発 事	215	3,182 土地購入費
	特別会計計	-▲478	42億2,695
	病院事業会計	-▲1753	2億8371 職員宿舍修繕費▲2000
合 計		2億7659	151億2596
特別会計＋病院事業会計		3,578	45億6,875

平成27年度補正予算 平成28年3月

財政調整基金積立に  
4億638万円

平成27年度3月補正の主なものは、平成28年度実施予定の国の経済対策交付金事業「加速化交付金事業」としての地域まちづくり計画の策定（4地区）、包括的移住支援事業（第2団地計画など）7064万円、財政調整基金積立に4億638万円などが主なもので、他はほとんどが清算による減額補正です。

平成28年3月一般会計補正予算（H27年度3月分）			
（単位：万円）四捨五入			
費目	補正予算	補正後予算	主な内容
議会費	20	9137	職員人件費
総務費	10356	19億5459	旧油木小学校舎・寄宿舎など解体▲1,058、源流の里維持再生▲1,908 地方創成加速化交付金事業（包括的移住支援、協働支援センター支援委託など）7,064、情報セキュリティ強化対策（インターネット分離システム構築、USB購入）1,158
民生費	2982	18億5542	年金生活者臨時福祉給付事業6,718、後期高齢者会計繰出し▲3,440、放課後児童▲280、児童扶養手当▲280、保育所運営▲618
衛生費	-▲3049	10億6709	医療従事者貸付金▲480、看護師就職支度金貸与▲750、成人保健▲424、病院事業会計補助▲2,005、簡易水道会計繰出し547
農林水産費	-▲8232	8億9547	中山間直接支払い▲1,870、担い手経営チャレンジ▲1,982、農村地域防災減災▲1,007、林業再構築プロジェクト▲1,202
商工費	-▲800	1億9241	雇用促進奨励助成▲160、職員人件費▲191、商工観光施設管理▲154、観光団体育成▲181
土木費	-▲8685	6億1808	町道宇賀線・日の郷線・上下高蓋線▲8,063、単独町道整備▲329
消防費	-▲1307	4億8506	常備消防▲167、非常備消防▲200、消防設備▲844
教育費	161	7億6163	小・中・高校教育支援515、小学校校舎施設管理（豊松小）▲594、小学校校舎耐震改修（7施設13棟）▲121
災害復旧費	-▲1317	4423	現年発生道路橋りょう▲901、現年発生農地・農業用施設▲415
公債費	-▲881	14億5046	長期債元金償還79、長期債利子償還▲961
諸支出金	4億0642	11億5949	財政調整基金積立4億638、かがやきネット・協働のまちづくり基金積立4
予備費		4000	
合 計	2億9890	106億1530	

平成28年

なにが  
どうなる

新規・拡充事業の主なもの

- 定住促進対策 1億186万円  
（誕生祝1歳児20万、入学祝小・中各10万、子育て移住・空家支援150万、新婚定住祝10万、保育料・幼稚園2子以降無料、学校給食無料）
- 耐震改修・地震ハザードマップ作製など 309万円
- 消防団備品配備 477万円  
（ヘルメット・ヘッドライト・踏抜き防止中敷など）
- 新規トマト研修施設整備 829万円
- 林道 五反田線舗装工事 3001万円
- 漢字・英語検定補助 40万円
- 豊松小学校校舎改修・GR整備 5200万円
- 町立体育館改修 4570万円  
（旧油木中体育館屋内GR化、油木体育館音響反射板）
- シルトピアカレッジ図書館指定管理委託 2153万円
- 神石牛増頭支援融資補助 232万円
- 協働支援センター運営支援  
\*旧自治振興会運営分 3080万円  
\*新規自由分 4000万円

# 当初予算質問

「地方公会計制度」の導入

木野山全額委託料だが財政課は拘わらないのか。

入力も全部委託業者では将来的に疑問が湧く。

森重総務課長補佐新基準財務諸表作成の必要なシステム構築・整備の委託料。

研修は別に行う。

瀬尾行財政係長入力作業は業者委託だが財産把握など業者判断が不可能なものは町職員が係わる。今年度中に業者選定を行う。

「選挙制度」の変更

木野山18歳以上まで選挙権が拡大された。

投票率確保の為投票所の変更はしないのか。

赤木総務課長補佐選挙管理委員会検討中です。

「ふるさと納税」への対策

木野山①自主財源確保の為奨

励措置の拡充を。

②協働支援センターへの寄付は出来るのか。

③町は5%の手数料を控除して補助金として交付している。

補助金の使途について報告義務があるが処理は。

小坂まちづくり推進課長

①インターネットなど利用しふるさと産品の広報を行い産品の拡充を図る。

②補助要綱を変更すれば可能。

③ある程度の期間をまとめて報告頂いているが、決算書プラ又使用明細書を提出して頂くよう引き続き要請する。

「自治振興会活動経費」

木野山①協働支援センターへの一括交付金に移行となり金額が一桁違うほど減額された。

役場職員の事務量の軽減に繋がるのか。

②自主財源比率を高めるのが課題とはどういう意味か。

儲けをしてもいいのか。

小坂まちづくり推進課長

①長い目で見ると軽減となるが当面は減らない。センターの活動形態は1年では確定しな

いと思う。

②いつまでも役場の補助金に頼ってもらうと活動が限られる。

住民対象の活動なので公序良俗に反せず理解が得られればドンドン儲けて頂きたい。

「漢字検定補助」の意義

木野山新規に漢字検定の補助を行う意義をどう啓発するか。

教育長本来の母国語を言語とすることの意義を高める事を目的としている。

国語力が無いと教科の理解が進まない。

学校教育全体で言語教育に

取組んでいる。漢字検定の意義も併せて周知するよう取組む。

【病院事業会計】

「政策医療交付金」

木野山交付金の1億3900万円は27年28年ともに当初予算は同額だが、変更はないのか。

内藤病院事業局長平成27年度の決算見込みで7500万円の不足が生じた。28年度の補正予算で不足分を提案し交付する予定です。

## 条例改正の主なもの

○過疎地域自立促進計画の変更

\*措置法の一部改正により5年間の延長（H28年度～H32年度）

○人と自然が輝くまちづくり条例に「協働支援センター」を規定した。（20条～25条）

○協働によるまちづくり推進条例の制定（目的・基本理念・町民と町の役割・支援センター要件・計画策定・交付金制度・報告・連携など）

○国民健康保険均等割額の変更（1万6千円→2万円）

○仙養ヶ原森林公園に仙養ヶ原芸術村を統合し、公園内での各種行為は町長の許可が必要とした。

○工場等設置奨励条例の変更

固定資産税の免除規定で\*1回限り・固定資産の課税標準額1千万円以上・従業員10人以上の条件を削除\*投下固定資産額5百万円以上とした。

○スコラ高原設置管理条例の中で「キャンプ場」「やまびこ荘」を廃止した。今後、キャンプ場はドッグランとなる予定です。



28.3.20 消防団春季訓練



# 一般質問

## 今までに町政運営に 取組んだ成果と課題を問う

### 長期的な戦略は

牧野町長は今限りで引退を表明された。  
「本年度の予算は合併後12年目となり私としては  
集大成の予算と考えている。これまで取組んできた各  
種事業の課題や成果を分析し、切れ目なく引継ぐ事  
が私に課せられた責務である」とのこと。

地方の時代と言われ体質強化を目指し合併した。  
確かに借金体質は解消しつつあるが、100%補助  
事業はあり得ず事業遂行には自主財源が欠かせない。  
あえてその対策を問いました。  
長期的にはどう考えるか。  
このまちを誇りに思い、好きになる事では。

**木野山**本年度予算は集大  
成の予算といわれるが、  
①今まで町政運営に取組  
んだ成果と課題。目標は。  
②町の今後の見通しは。  
③長期的な戦略は。

**町長**  
①「成果」は、  
○債務の解消。212億円  
を131億円に。  
○基金積立の増。基金総額

○課題解消へ向けての継  
続的な取組、  
○新町建設計画に基づく  
計画的事業実施、  
○自主財源確保に向けた  
取組の強化、  
○債務に見合った歳出に  
よる予算組実施。

②人口減少・高齢化に歯止  
めがかからず財政的にも  
更に厳しさが増す。

必要な「施策」は、  
○子育て支援の充実、  
○農業・畜産及び商工業の  
振興、  
○協働のまちづくり、  
○第2定住団地の整備。

③まち・ひと・しごと創生  
総合戦略の実現。

**木野山**自主財源確保対策  
は。税収確保、寄付金、基  
金運用など考えられるが。

**町長**経済力を上げるには  
産業の活性化だ。農林業・  
畜産と商工業、観光に力を  
入れ町の総合力、行政力、  
財政力を積上げていく。

自主財源増への強い意  
志が必要だ。

**まちづくり推進課長**ふるさと  
と産品に力を入れインタ  
ーネット等でアピールし  
たい。商工会からも提案さ  
れているので本年度中に  
取組む。

**会計課長**総額111億円  
を積立てる。うち定期預金  
が63億円、国債、地方公共  
団体債を今年度末で20億  
円とする。

27年度の基金の運用益  
は利息を加えて3000  
万円となる予定。  
リスクを伴うが総務課  
財政係と連携しながら少  
しも多くの自主財源確  
保に努めたい。

**木野山**行政改革で心残り  
は無い。例えばワークシ  
ェアリングなど。

**町長**執行部も議会も危機  
感をもって行政に携わっ  
て頂きたい。

**木野山**長い目で見ると精  
神的な活性化、地域に誇り  
を持つ、自分の住む町を愛  
する心を持つ事が大事だ。  
教育目標に「郷土の歴  
史、伝統文化への理解と愛  
情を持ち、果敢に挑戦」と  
あるがどう取組むのか。

**教育長**自分たちの生活地  
域が誇れる地域である事  
を知る為に、郷土の歴史は  
道徳教育地域教材に基づ  
き、伝統文化は神楽や伝統  
的な遊びなどを地域の方

をゲストティチャーとし  
て招き、学習している。  
教職員も其々資料に基  
づき研究・工夫し指導体制  
を執っている。

**木野山**こういった「ここ  
ろ」の醸成は日本を大事に  
思い、日本の国語・母国語  
を学ぶことの重要性や歴  
史をもっと知ろうとする  
気持ちに繋がる。  
しっかりと取組んで頂  
きたい。



28.3.25 どんぐり幼稚園「卒園式」